

(7月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか		11,662	105	13,359	125	119	131	1,565	13.4	千葉、鳥取、長野産の入荷で7割を占める。月の後半は山形、新潟産の入荷も増える。千葉産は生育が遅れているが、7月には回復し平年並みの入荷となる見込み。鳥取産は品質良く、順調な入荷見込み。長野産は作付け減と6月の天候不順の影響により、入荷は少なかった前年並みの見込み。全体の入荷量は平年をやや上回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
もも		6,343	100	6,494	448	95	465	6	0.1	山梨産中心の入荷となる。山梨産は生育の遅れは見られるものの、着果良い。早生種はやや小玉であるが、中生種からは肥大が回復するため、7月は順調な入荷が見込まれる。全体の入荷量は平年並み、価格は前年を下回ると予想される。
メロン(アールスメロン)		866	95	990	582	100	604	2	0.2	静岡、千葉、宮崎産中心の入荷で8割を占める。全般に作付減による入荷減の見込み。静岡産は中旬から夏系に切り替わる。品質も良く十分な仕上がり。千葉産は糖度高く、品質も良好。宮崎産は肥大は良いが平年よりも下位等級の比率が高い。出荷は7月中旬で終了。全体の入荷量は各産地とも作付けが減少から入荷は前年を下回る見込み。価格は中元期となるため、中旬までは堅調に推移するが予想される。
メロン(アンデスメロン)		1,017	98	984	263	100	254	820	80.7	山形、茨城産中心の入荷。山形産はハウスものが前進し出荷ピークは7月上旬。下旬からトンネル栽培が始まる。茨城産は小玉果、商品化率の低下で出荷量が少ない。出荷は7月上旬で終了見込み。全体の入荷は前年をやや下回り、価格は他の夏果実が順調に入荷する見込みから昨年を下回る見込み。
ぶどう(デラウエア)		954	102	1,120	743	100	677	527	55.3	山形、山梨産で8割を占める。山形産はハウス加温が6月下旬から入荷開始。加温・無加温栽培とも結実良好で房伸びも良く、大房の仕上がり。入荷量は前年並みの見込み。山梨産は月の前半がハウス栽培、中旬から露地ものが始まる。入荷量は不作だった前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格については前年並みの見込み。

(7月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
ハウスみかん		1,211	98	1,519	943	105	835	-	-	佐賀、愛知、大分、長崎産で7割を占める。愛知産は作付け減と着色の遅れで7月の入荷は前年を大きく下回る見込み。佐賀、長崎産は中元需要に合わせて首都圏への出荷比率を高めていることから前年並みの入荷見込み。大分産は出荷の遅れから7月出荷の比率が高まり前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は中元需要の引き合いも強く、堅調に推移すると予想される。
すもも		1,254	100	1,305	431	89	410	213	17	山梨、山形産の入荷で8割を占める。山梨産は前年に比べ作柄が良好入荷も前年を上回る予想。山形産は中旬より入荷が始まり、下旬まで入荷が続く見込み。作柄は良好で、前年並みの入荷が期待できる。全体の入荷量は平年並み、価格は前年を下回る見込み。
なし		1,603	95	1,641	472	110	483	-	-	福岡、佐賀産の入荷で8割を占める。福岡産はハウスものが作付け減のため、中旬までは品薄傾向。下旬から入荷が増える見込み。佐賀産も入荷が増えるのは7月下旬から。出荷ピークは8月上旬まで続く見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並みか前年をやや上回る見込み。
すもも		1,254	90	1,311	431	194	410	213	17.0	主産地が宮崎から沖縄に移る。宮崎産は入荷量が前年比3割増と予想される。沖縄産は開花期の天候不順から作柄は3割減の見込み。全体の入荷量は主産地の沖縄が入荷減から前年を下回る見込み。価格は、国産マンゴーの需要は引き続き強く、中元需要もあることから高値で推移する見込み。